



**All Japan
Intercollegiate Sailing
Championship
Individual game and
Single hand regatta
2021 GAMAGORI**

伊藤園

自然が好きです。

鮮度たっぷり。



2021 年度全日本学生ヨット個人選手権大会 2021 年全日本学生シングルハンドレガッタ

共同主催	全日本学生ヨット連盟 中部学生ヨット連盟
大会期間	2021 年 10月29日（金）～ 2021年11月1日（月）
開催地	愛知県蒲郡市海陽町 1-7 豊田自動織機海陽ヨットハーバー
公認	公益財団法人 日本セーリング連盟 【承認番号 2021-10】
後援	蒲郡市 中部ヨット協会 愛知県ヨット連盟 日本 470 協会 日本スナイプ協会
協賛	日建・レンタコムグループ 日建レンタコム株式会社 日建リース工業株式会社 日建片桐リース株式会社 明治商工株式会社 株式会社伊藤園 蒲郡市観光協会
協力	豊田自動織機海陽ヨットハーバー 蒲郡温泉 平野屋

-目次-

大会御挨拶	2
大会役員	9
競技役員	10
レース公示	12
帆走指示書	24
470 クラスエントリー表	33
スナイプクラスエントリー表	36
シングルハンドレガッタエントリー表	39
歴代優勝者	41
会場案内図	44

ご 挨拶

公益財団法人日本セーリング連盟
会 長 馬 場 益 弘



2021年度全日本学生ヨット個人選手権大会ならびに2021年全日本学生シングルハンドレガッタが、あらためてコロナウイルス感染症には万全の対策を講じていただいたうえで、豊田自動織機海陽ヨットハーバーで開催されますことをお慶び申し上げます。

本年は東京2020オリンピックが開催され、日本選手団の活躍に日本中の国民が感動し、感激の嵐が巻き起りました。一つの目標に向かって突き進む姿は輝かしいもので、皆さんも何度も感動されたことと思います。その上で、私達は次の目標は、「パリ五輪で金メダル獲得」を掲げています。多くの選手に是非チャレンジしていただきたいと願っております。

セーリングは、峻烈な競技スポーツであり、年齢や性別にかかわらず、誰もが楽しめる優れた生涯スポーツです。無風のときはじっと風を待つ忍耐と根気を養い、順風のときは思いっきり風を受けて進む元気を養い、逆風や荒天にあっては風や波と戦う勇気を養います。また、冒険心、創造性、チームワークなどいろいろなことを学び、まさに若者にとって貴重な経験となり、人間としても優れた素晴らしいセーラーが育っていくと考えています。

過去のこの大会の参加選手からも、世界でも活躍する選手を輩出しています。皆さんも是非世界へ羽ばたいていていただきたいと思います。今回、蒲郡の海に集まったセーラーの皆さんが、その後は選手として、あるいはレースオフィシャルズとして、世界で活躍されることを、そして生涯セーリングを楽しまれることを切に願っております。

終わりに、この大会開催にあたり、蒲郡市、蒲郡市教育委員会、豊田自動織機海洋ヨットハーバーのご後援、御協力をいただきましたことを感謝申し上げます。また、ご協賛を頂いた日建・レンタコムグループ各社、明治商工株式会社、株式会社伊藤園、蒲郡市観光協会に心からお礼申し上げます。

今大会が好天に恵まれ安全かつ成功裏に進みますことを祈念してご挨拶いたします。

歓迎のごあいさつ

愛知県ヨット連盟

会 長 小 栗 一 朗



「2021 年度全日本学生ヨット個人選手権大会」「2021 年全日本学生シングルハンドレガッタ」が、愛知県蒲郡市の「豊田自動織機 海陽ヨットハーバー」において開催されるにあたり、愛知県ヨット連盟を代表し、全国各地からお集まりいただき選手、監督ならびに大会関係者の皆様に心から歓迎申し上げます。

豊かな自然に囲まれ、一年を通じてセーリングに最適な風が吹く三河湾に 面した蒲郡市は、日本初のセーリングワールドカップや様々な全日本選手権が 開催されるなど、セーリングスポーツの一大拠点であり、また、2026 年には 第 20 回アジア大会の開催が決定しております。

昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響はまだありますが、感染拡大防止をしっかりと行っただうえで、皆様をお迎えできることは、皆様の熱意と協力によるものと思ひ、無事大会が行われることを願っております。

この地で大会が開催されることは、愛知県におけるセーリング競技の普及、振興にも寄与する、たいへん意義深いものです。さらには、皆様がその実力を競いあうことは、日本のセーリング界をますます活気づけていただくことにつながります。

11 月には、第 86 回全日本学生ヨット選手権大会も開催されるとお聞きしております。様々な生活環境がかわり、特別な日々が続いておりますが、皆様の日ごろの練習成果を十二分に発揮し、本大会が今シーズンの大学ヨットの幕開けを飾る素晴らしい大会として記憶されることを大いに期待しております。

この蒲郡の歴史や文化、人々に接していただきながら、本大会が思い出深い、素晴らしいものとなりますよう、心からお祈り申し上げます。

本大会開催にあたり、ご尽力いただきました関係の皆様へ深く敬意を表するとともに、本大会の成功を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。

歓迎のごあいさつ

蒲郡市長 鈴木 寿 明



「2021年度 全日本学生ヨット個人選手権大会 全日本シングルハンドレガッタ」が、ここ蒲郡市の豊田自動織機海陽ヨットハーバーを会場として開催され、全国各地から多くの選手、関係者の皆様をお迎えることは大変喜ばしく、地元市長として心から歓迎申し上げます。

蒲郡市は、本州中部に位置し、温暖な気候と美しい風景に恵まれた三河湾国定公園の中心にあり、渥美半島と知多半島に囲まれた海の観光地であります。皆様方のように海を愛する人たちが本市の海で日本トップレベルのレースを展開していただけることをとても楽しみにしております。

また本市は、セーリング競技と馴染みが深く、世界一周を果たした「エリカ号」の蒲郡帰港を記念して始まった「エリカカップヨットレース」や、7、8月に数々の熱戦が繰り広げられた東京オリンピックの前哨戦となったセーリングワールドカップの日本初開催の地になるなど、まさにセーリング競技の中心地となっております。

選手の皆様には、日頃鍛えた力と技、練習の成果をこの三河湾を舞台に存分に発揮していただきたいと思っております。そして、将来、オリンピック日本代表選手として日本セーリング界を牽引していただきますことを大いに期待しております。

今年も、新型コロナウイルス感染症の影響により、大会開催に至るまで相当なご苦労があったかと存じます。ご尽力いただきました関係者の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、大会のご成功とセーリング競技の益々のご隆盛を祈念申し上げます、歓迎のご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶



全日本学生ヨット連盟

会長 松下 淳一

2021年全日本学生ヨット個人選手権大会及び全日本学生シングルハンドレガッタが、この度、蒲郡の豊田自動織機海陽ヨットハーバーにおいて盛大に開催されることになりました。まずはこの開催に心からの祝意を表したいと思います。

昨年春以来の新型コロナウイルス感染症の問題から、昨年の個人戦は開催時期を当初予定の9月上旬から11月末に移すという異例の事態となりました。しかし、とにかく開催できたこと、そしてその大会で新型コロナウイルスの感染者を出さなかったことは、本当に何よりでした。昨年の個人戦を終えた時点では、来年は感染症の心配なしに安心して開催できることを期待していました。

しかしながら、今年に入っても、多くの地域で感染状況が好転しない日々が続きました。そんな中で、本大会の開催形態等について議論するために、昨年と同じく、各水域のご関係の皆様によってオンラインでの会議が複数回実施されました。そのようなオンラインでの議論を伺いながら私が思ったのは、関係者の皆様は「何とかして安全に大会を開催したい」という想いを強く共有している、ということでした。

議論の末に、いったんは予定どおり9月上旬に本大会を開催することとしたものの、その後の感染状況の悪化により後倒しを余儀なくされ、10月29日～11月1日開催となった次第です。日程が決まってもよかったと思うのと同時に安全な実施に向けての緊張も感じざるをえません。以上のような経緯からしても、出場する選手の皆さんには、大会の前・最中・後を通じて感染症対策をくれぐれも怠らないように切にお願いします。また、すぐ後の週に同じ場所で全日本インカレが開催されることから、特に中部水域のご関係の皆様にはご負担をおかけすることになります。ご関係の皆様の真摯なるご尽力に心より感謝申し上げます。

日頃の厳しい練習を経て立派な成績を上げてきた選手の皆さんには、本大会に出場できたこと自体に敬意を表したいと思います。そのような皆さんは、本大会においては、学生として最高レベルのレースを展開されるであろうことを信じています。シーマン・シップに則って正々堂々と戦うこと、そして陸に上がっても、運営に当たっている大会関係者や地域住民の方々に対して十分な配慮のある振る舞いすることをぜひ心掛けて下さい。また、例年にも増して安全第一に留意をお願いします。安全で無事故は常に絶対の要請です。

最後になってしまいましたが、今大会の開催のためにご支援、ご協力を賜ったご関係の諸団体、ご関係者の皆様すべてに厚く御礼を申し上げます。

ご挨拶



中部学生ヨット連盟

会長 石倉俊宏

「2021 年度全日本学生ヨット個人選手権大会」「2021 年全日本学生シングルハンドレガッタ」が、愛知県蒲郡市の「豊田自動織機 海陽ヨットハーバー」において開催されるにあたり、中部学生ヨット連盟を代表し、選手、監督ならびに大会関係者の皆様を心から歓迎申し上げます。

三河湾は、セーリングスポーツに適した環境にあり、本大会が開催されます豊田自動織機海陽ヨットハーバーは、毎年、全日本学生ヨット個人選手権大会をはじめとした大学生の全日本大会を開催しており、皆様に非常に馴染みのあるハーバーであります。

また、今年度におきましては、第 86 回全日本学生ヨット選手権大会も開催が予定されており、個人選手権大会と全日本インカレが分かれてから、初めて同じ年に同じ場所で開催することになりました。

このような素晴らしい機会をいただき、中部学生ヨット連盟役員一同、周到に準備を進めてまいりました。皆様には、これまでの成果が十分発揮できるよう日ごろの練習の成果を存分に発揮され、是非学生ヨット個人日本一の称号を手にしていただければと思っています。

全日本学生シングルハンドレガッタは、今年も海陽ヨットハーバーに配備していただきましたレーザーラジアル艇を使用して実施します。これらの艇は、ハーバーのご協力のもと、皆様に良いコンディションで艇をチャーターすることができ、満足していただけるのではないかと考えております。年々レベルも上がってきており、今年も皆様の活躍を見るのを楽しみにしております。選手の皆さんぜひ頑張ってください。

今も新型コロナウイルスの感染拡大の影響が続いております。選手がエールを掛け合い称えあう姿、OB・OG、父兄の皆様が安心してハーバーに来ていただき、選手を応援していただく姿を見ることを私も望んでいますが、まだまだ今は難しい状況にあります。選手の皆様が思い切り大会に臨んでいただくためにも、OB・OG、父兄の皆様方にはもう少しの間、自宅などからの応援をお願いしたいと思います。

最後に本大会開催にあたり、ご協賛、ご協力いただきました企業、団体の皆様をはじめ役員の皆様に深く感謝するとともに、本大会の成功を祈念いたしまして、挨拶といたします。

挨拶文



全日本学生ヨット連盟

委員長 武藤大和

この度「全日本学生ヨット個人選手権大会」が愛知県 豊田自動織機 海陽ヨットハーバーにおいて開催される運びとなりましたことを、心からお慶び申し上げます。

本年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で多くの学生が制限の中で活動を行ってきたことと思います。このような状況下において今大会を開催するにあたり、多くの大会関係者の皆様が日々協議を重ねながら、学生のためにご尽力を賜り、今大会が無事に開催されることに感謝申し上げます。

本大会は学生の頂点を決める大会です。選手の皆様は日本一の称号を手にするために日々努力を重ねてきたと思います。この大会に惜しくも出場できなかった選手も少なくないと思います。このような選手の想いを胸に、各水域の代表として正々堂々と戦って頂きたいと思います。

新型コロナウイルス感染対策を行いながら、大会開催に向け協力してくださる方々に感謝を忘れず、本大会を楽しみ、最大限のパフォーマンスを発揮出来ることを、心より願っております。

また、今大会開催に際し、多大なるご支援をいただきました関係諸団体、および関係者各位の皆様に厚く御礼申し上げます。

ご挨拶

中部学生ヨット連盟

委員長 大野 智也



この度、「2021年度全日本学生ヨット個人選手権大会」及び「2021年全日本学生シングルハンドレガッタ」が豊田自動織機 海陽ヨットハーバーにおいて開催される運びとなりました。また、今年度におきましては「第86回全日本学生ヨット選手権大会」も同じく、海陽ヨットハーバーでの開催が予定されており、大変嬉しく思います。

昨年に引き続き、今年も新型コロナウイルスの影響が様々な面で見られます。この約2年間で、選手の皆様は練習禁止期間を経験した方がほとんどだと思います。その期間を経て気付かされたことは『当たり前は当たり前じゃない』という事です。部員たちと楽しく合宿生活ができていたこと。今ヨットに乗れているということ。本大会においても決して当たり前で開催されているわけではなく、何度も臨時の会議を開催し、夜遅くまで議論をしていただいた全国の評議員、役員の皆様のご尽力あってのものでございます。本当に心より感謝申し上げます。

スポーツには人を感動させ心を動かし魅せる力があると思います。今年の夏に開催された「東京2020オリンピック・パラリンピック」をご覧になられた方なら感じられたはずですが、それはもちろんヨットにも当てはまると思います。残念ながら本大会は新型コロナウイルス感染症対策から無観客に近いかたちでの開催となってしまいましたが、これまでお世話になった方々に感動を与えられる様な大会になることを期待しています。

最後となりましたが、本大会の開催を快く引き受けて下さった豊田自動織機 海陽ヨットハーバー様、本大会開催にあたり、ご協賛、ご協力いただきました企業、団体のすべての皆様に心より御礼申し上げますとともに、本大会の成功を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

大会役員

大会名誉会長	馬場益弘	公益財団法人日本セーリング連盟会長
大会名誉副会長	関山正	全日本学生ヨット連盟名誉会長
	鈴木寿明	蒲郡市市長
大会会長	松下淳一	全日本学生ヨット連盟会長
大会副会長	古川裕之	全日本学生ヨット連盟副会長
	小栗一朗	愛知県ヨット連盟会長
大会顧問	市川隆	中部学生ヨット連盟顧問
	鵜飼通夫	中部学生ヨット連盟顧問
	渡邊剛	全日本学生ヨット連盟副会長北海道水域
	伊藤則之	全日本学生ヨット連盟副会長東北水域
	紙谷雅子	全日本学生ヨット連盟副会長関東水域
	山本旭	全日本学生ヨット連盟副会長近畿北陸水域
	梅田直哉	全日本学生ヨット連盟副会長関西水域
	羽倉義雄	全日本学生ヨット連盟副会長中国水域
		全日本学生ヨット連盟副会長四国水域
	桧垣靖樹	全日本学生ヨット連盟副会長九州水域
大会委員長	古川裕之	中部学生ヨット連盟会長
大会副委員長	石川由賀里	中部学生ヨット連盟副会長
	坂浦真希	中部学生ヨット連盟理事
大会委員	大野智也	中部学生ヨット連盟委員長
	武藤大和	全日本学生ヨット連盟委員長
	根本優樹	全日本学生ヨット連盟常任庶務
	熊谷羽留	北海道学生ヨット連盟委員長
	山下美咲	東北学生ヨット連盟委員長
	古関鴻一	関東学生ヨット連盟委員長
	矢田隼太郎	近畿北陸学生ヨット連盟委員長
	中嵯和宏	関西学生ヨット連盟委員長
	小坂駿斗	中国学生ヨット連盟委員長
	竹一憲太朗	四国学生ヨット連盟委員長
	成瀬諒花	九州学生ヨット連盟委員長

競技役員

レース委員会

委員長	石倉俊宏
委員	鈴木志寿浦
NRO	石倉俊宏

プロテスト委員会

委員長	南原健一				
委員	小野内健太	小瀬水健	児玉晴夫	鷺見知幸	贅洋佑
	水野秀輝				

海上運営本部

本部長	石倉俊宏					
部員	朝倉由美香	安藤亮治	飯島悠太	飯島森	石黒武志	伊藤僚
	岩田聖矢	上村侑大	内山貴宣	加藤貴志	加藤優汰	川口裕貴
	草川貴也	草間幹博	百済信彦	百済裕人	斎藤圭吾	酒井惟司
	阪倉海斗	櫻井真也	三軒わかば	杉浦博之	杉本健吾	鈴木大河
	田口遼汰	田中健太郎	長尾尚弥	中島量敏	新美忠邦	早川裕文
	藤原啓至	堀田秀吾	本多哲也	間神陽斗	山本浩資	米本裕
	若松芳文	渡辺淳史				
補助役員	荒島聡太	稲垣颯生	井上恵寧	岩瀬晃司	岡田琉我	小野広喜
	北元結菜	木村友哉	高野陸斗	西城秀	坂井光希	佐々木駿介
	鈴木貴博	鈴木優太	田中啓心	東松永莉	中川幹大	野竹みちる
	野村恭平	三浦裕玖	三宅慧実	渡部万緑		

総務部

部長	鶴飼通夫					
副部長	石川由賀里					
部員	中西真紀	森由美子	矢ヶ崎新			
補助役員	岩田沙希	高島雅久	野村菜々香	山下晴生	横井春佳	山野萌子

記録部

部長 坂井正和

役員 小嶋光稀 高木榛名

補助役員 小野彩 松下瑤実 森脇雪乃

運航部

部員 小池嶺 古川裕季 吉川裕李

テクニカル委員会

委員長 杉浦博之

補助役員 相川拓海 田口和磨

2021 年度全日本学生ヨット個人選手権大会 2021 年全日本学生シングルハンドレガッタ

共同主催	全日本学生ヨット連盟 中部学生ヨット連盟
大会期間	2021年10月29日(金)～2021年11月1日(月)
開催地	愛知県蒲郡市海陽町1-7 豊田自動織機海陽ヨットハーバー
公認	公益財団法人 日本セーリング連盟 【承認番号 2021-10】
後援	蒲郡市 中部ヨット協会 愛知県ヨット連盟 日本470協会 一般社団法人 日本スナイプ協会
協賛	日建・レンタコムグループ 日建レンタコム株式会社 日建リース工業株式会社 日建片桐リース株式会社 明治商工株式会社 株式会社伊藤園 蒲郡市観光協会
協力	豊田自動織機海陽ヨットハーバー 蒲郡・三谷温泉平野屋 株式会社丸玉運送

レース公示

略語

「SP」レース委員会、またはテクニカル委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これは規則 63.1 及び A5 を変更している。当該委員会はその規則の違反を抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定される。

「NP」艇による抗議の根拠とならないことを意味する。これは規則 60.1(a) を変更している。

1. 規則

- 1.1 本大会は「セーリング競技規則 2021-2024」（以下、『規則』という）に定義された規則を適用する。
- 1.2 付則 P の「セール番号」を「艇の識別番号」に置き換え適用する。これは規則 P1.2 を変更している。
- 1.3 付則 T が適用される。
- 1.4 SCIRA 規則の「国内及び選手権大会の運営規定」は、同規定 9.1 に定められたレースを行う最大風速に関する規定を除き適用されない。

2. 大会を管理する文書

- 2.1 本大会を管理する以下の文章は、全日本学生ヨット連盟にて入手できる。

<https://www.zennihon201809.com/>

- (1) 全日本学生ヨット連盟規約
- (2) 470 級学連申し合わせ事項
- (3) スナイプ級学連申し合わせ事項
- (4) 艇体への大学名表示に関する申し合わせ事項

3. 艇. 装備. セール

- 3.1 1チーム1艇とし各チームとも1艇の予備艇を認める。
- 3.2 セールは1チーム1セットする。なお、1セットの予備セールを認める。
- 3.3 470クラスについて、以下のとおりとする。
 - ① 2021年団体登録を完了し、かつ各水域での本大会の大会計測を完了していること。
 - ② セールは基本計測が完了し、かつ各水域での本大会の大会計測を完了していること。また470協会に登録された艇以外のセール番号を使用してはならない。
 - ③ メイン・セールとスピネーカーのセール番号は同一でなければならない。
- 3.4 スナイプクラスについて、以下のとおりとする。
 - ① 2021年度SCIRA登録が完了しかつ各水域での本大会の計測を完了していること。
 - ② スナイプクラスの今年度新調したセールは、2021年の年度計測を完了しかつ各水域での本大会の大会計測を完了していること。また2021年度SCIRAに登録済の艇以外のセール番号を使用してはならない。
- 3.5 予備を含む艇は、受付時に交付される「艇の識別番号」を【添付図A】にある位置に貼り付けなければならない。
- 3.6 予備艇使用は破損の場合のみとし、最初の適当な機会にテクニカル委員会の許可を得なければならない。新たに使用する艇は各水域での本大会の大会計測を完了していなければならない。
- 3.7 両クラスとも同一のセール番号、識別番号を同時に複数の艇で使用してはならない。
- 3.8 セール交換は破損、紛失の場合のみとし、最初の適当な機会にテクニカル委員会の許可を得なければならない。新たに使用するセールのセール番号は、元のセール番号と同一でなければならない。
- 3.9 競技者は、主催団体によって提供された、トラッキングシステムをその使用に関する指示に従い、その機能を妨げることなく実施しなければならない。
- 3.10 個人用浮揚用具（ライフ・ジャケット）は、最低規格ISO 12402-5、またはUSCG Type III、またはAS4758 LEVEL50または同等の個人用浮揚用具を使用しなければならない。膨張式ライフ・ジャケットは認められない。

4. 広告

艇は、主催団体によって選択され、支給される広告を表示するよう要求されることがある。

5. 参加資格

5.1 470 クラス、スナイプクラスの1チームは、ヘルムスマン 1 名、クルー 2 名以内とする。

レーザーラジアルクラスは 1 名とする。

5.2 本大会は、各水域学生ヨット連盟の推薦を得た加盟大学の競技者が参加できる。

5.3 470 クラス、スナイプクラスの各水域推薦枠は次の通りとする。

北海道	東北	関東	中部	近畿 北陸	関西	中国	四国	九州	開催 水域	合計
3	3	18	4	6	6	4	3	6	1	54

5.4 競技者は、以下の事項を満たしていなければならない。

- (1) 2021 年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
- (2) 470 クラスの競技者は、日本 470 協会の 2021 年度団体登録を完了している大学ヨット部に所属していること。
- (3) スナイプクラスの競技者は、2021 年度 SCIRA 会員 (Junior 会員、Senior 会員) であること。
会員区分については、(一社)日本スナイプ協会ホームページを確認のこと。
<https://www.scirajapan.com/>
- (4) レーザーラジアルクラスの選手は、レーザークラス協会に登録済みであること。
- (5) 参加チームの監督およびコーチは、2021 年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。
- (6) スポーツ安全保険(人身・物損補償)相当の保険に加入していること。

5.5 競技種目毎の各大学単位の支援者登録者数を以下のように定める。

・470 クラス、スナイプクラス

支援者(部長、監督、コーチ、マネージャー、その他サポートメンバー): 最大 5 名

・レーザーラジアルクラス

支援者(部長、監督、コーチ、マネージャー、その他サポートメンバー): 最大 3 名

ただし、同大学から 470 クラスもしくはスナイプクラスが出場している場合は、支援者は、兼任とし登録はできない。

6. 参加申し込み

6.1 470 クラス スナイプクラス

参加資格を満たしたチームは、申込期日までに以下の手続きを完了させ、公示7に該当する参加料を振り込むことで参加申し込みが完了する。ただし、6.3項に関する参加料振込については、10月15日（金）17時まで完了すること。

(1) 【参加申し込みフォーム】の該当する参加申込書を完成させ送信する。

【参加申込書フォーム】

[参加申込書-1 一般事項申込フォーム](#)

[参加申込書-2 艇登録フォーム（470. スナイプ共通）](#)

[参加申込書-3 470 選手申込](#)

[参加申込書-4 スナイプ選手申込](#)

[参加申込書-8 艇搬出調査](#)

[参加申込書-9 470 支援者登録](#)

[参加申込書-10 スナイプ支援者登録](#)

[参加申込書-11 シングルハンド支援者登録](#)

[参加申込書-12 無線機使用同意書](#)（大会からレンタルを希望した大学のみ提出）

(2) ①から③の添付書類の画像を、大会ホームページからダウンロードできる EXCEL ファイルに貼り付け、PDF ファイルに変換したものを電子メールで提出する。④については、PDF ファイルにして提出する。

- ① 競技者、監督、コーチ全員が『2021 年度（公財）日本セーリング連盟』の会員であることの証左。
- ② 470 クラスは「INTERNATIONAL 470 CLASS MEASUREMENT FORM」の写し。
2011 年 7 月 29 日以前に登録された艇は、上記に加え「計測登録証明書」の写し。
- ③ スナイプクラスは「スナイプクラス計測証明書」の写し。
- ④ 各水域で実施する「大会計測証明書」。

【参加申込期日】

2021 年 8 月 2 日（月）19 時 但し大会計測証明書のみ 2021 年 10 月 18 日（月）17 時

(3) 申込期日までに公示 6.1 が完了していない場合は、2021 年 8 月 8 日（日）17 時までの提出に限り、レイトエントリー扱いとする。ただし、コロナウイルス感染予防のため水域予選が締め切り日以降になった場合は除く。

【提出先電子メールアドレス】

chubu.icyf.alljapan@gmail.com

6.2 レーザーラジアルクラス

参加資格を満たしたチームは、申込期日までに以下の手続きを完了させ、公示7に該当する参加料を振り込むことで参加申し込みが完了する。

[参加申込書-5 レーザーラジアルクラス選手登録](#)

[参加申込書-6 レーザーラジアル チャーター申込書](#)

【参加申込期日】

2021年8月2日(月)19時 但しチャーター申請は7月30日(金)19時まで

レーザーラジアル艇のチャーターについて

- ① レーザーラジアルのチャーターは、先着10艇とし同一大学3名までのチャーターとする。
 - ② オンラインでの申込み日含め2日以内にチャーター料の振込がない場合は、自動キャンセルされる。一度キャンセルされた場合で再申し込みした場合は、その時点での最後尾順位になる。これは特定の大学に偏らないようにするとともに、出来るだけ多くの選手が参加し易いようにするためである。
 - ③ レーザーラジアルのチャーター状況については、常にオンラインで確認できるため、状況を確認して申し込みを行うこと。
 - ④ キャンセルがあった場合は、申し込み順に繰上げを行う。なお、11番目以降の申し込みについては、チャーターが可能となった連絡後、チャーター料の振込みを行うこと。
 - ⑤ 自己都合のキャンセルに伴うチャーター料の返金は行わない。
 - ⑥ 艇の引き渡しは、選手各自が海陽ヨットハーバーにて実施する。艇は、申し込み順にセール番号の若番より割り当てる。
- 6.3 支援者艇を使用する場合は、支援者艇申込期日までに【支援者艇申込フォーム】より送信し、支援者艇の船舶検査書の画像を電子メールで提出する。

【支援者艇申込書フォーム】

[参加申込書-7 支援者艇許可申請](#)

【支援者艇申込期日】

2021年10月15日(金)17時

【提出先電子メールアドレス】

chubu.icyf.alljapan@gmail.com

- 6.4 期日を過ぎてからの艇、セールまたは競技者の追加変更登録は、主催団体を納得させる合理的な理由を必要とする。

7. 参加料

(1) 参加料

470 クラス、スナイプクラス	20,000 円/1 艇
※レイトエントリーの場合	40,000 円/1 艇
レーザーラジアルクラス	10,000 円/1 艇
※チャーター料 10月30日～11月1日利用分のみ	12,570 円/1 艇

(2) 識別番号料

2,100 円/1 艇 ※予備艇を登録する場合、2,100 円/1 艇が必要となる。

(3) 支援者艇登録料

支援者艇登録料 1,000 円/1 艇

(4) 無線機借用料

無線機の貸与を希望する場合は、下記の使用料が必要となる。無線機の貸与は、参加校毎に1台までとする。また、数量に限りがあるため、貸与は申込先着順とする。貸与を希望する大学は、無線機使用同意書を提出する必要がある。

無線機借用料 2,000 円/台

(5) 施設使用料

上記参加料には、10月30日～11月1日の給水設備使用料が含まれるが、大会期間中分を含めて豊田自動織機海陽ヨットハーバーでの艇保管料は含まれない。艇保管料及び、上記期間以外の給水設備使用料、支援者艇関連費は、参加チームの責任でハーバー窓口にて手続きを行い支払うこと。

【振込先】

三菱 UFJ 銀行 松阪支店 店番 532 普通口座 0090156
口座名義 チュウブガクセイヨットレンメイ イシクラ トシヒロ

【振込者の入力】

振込は、大学名毎にまとめて振り込みをする。 例 ○○ダイ

- 7.2 申し込み後の返金は一切応じない。ただし、公示 19 により大会が中止された場合のみ、参加料より必要経費を差し引いた額を返金する。

8. 日程

8.1 本大会の日程は以下のとおりとする。

10月29日	(金)	受付(ZOOM)	13:00 ~ 16:00
		大会説明(ZOOM 配信のみ)	18:00 ~ 18:30
10月30日	(土)	ブリーフィング	09:45 ~ 10:00
		1日目の最初のレース	予告信号予定時刻
		470クラス	11:00
		スナイプクラス	11:07
		レーザーラジアルクラス	11:12
10月31日	(日)	ブリーフィング	9:10~ 9:20
		2日目の最初のレース	予告信号予定時刻
		470クラス	10:20
		スナイプクラス	10:27
		レーザーラジアルクラス	10:32
11月1日	(月)	ブリーフィング	9:10~ 9:20
		3日目の最初のレース	予告信号予定時刻
		470クラス	10:20
		スナイプクラス	10:27
		レーザーラジアルクラス	10:32

11月1日に表彰式を実施する(LIVE 配信あり)

8.2 本大会のレース数は各クラス最大 8 レースを予定し各クラス 3 レースをもって大会成立とする。

8.3 1日に実施するレース数は、次のとおり計画する。

日 程	470 クラス	スナイプクラス	レーザーラジアルクラス
10月30日(土)	3	3	3
10月31日(日)	4	4	4
11月1日(月)	1	1	1

8.4 計画しているレースを完了させるため、当日までの計画に対して1レースを越えない限りレースを前倒しすることがある。

8.5 11月1日は12:31以降に予告信号は発せられない。

8.6 受付は、【ZOOM】を使用してオンラインで行う。

【ZOOM ID:470・レーザーラジアル】 ミーティング ID : 389 909 5063

パスワード : chubu

【ZOOM ID:スナイプ】

ミーティング ID : 523 609 5053

パスワード : chubu

【ZOOM ID:支援者艇受付】

ミーティング ID : 523 609 5053

パスワード : chubu

8.7 主将会議は、【ZOOM】を使用してオンラインで行う。

【ZOOM ID】 389 909 5063

【ZOOM パスワード】 chubu

8.8 ブリーフィングは、【ZOOM】を使用してオンラインで行う。

【ZOOM ID】 389 909 5063

【ZOOM パスワード】 chubu

9. 計測

9.1 参加チームは、予備艇を含む艇体および予備セールを含むセールについて、各水域で実施した「大会計測証明書」を提示するとともに、「大会計測済スタンプ」の確認を受けることがある。

9.2 本大会の事前計測は、2021年7月24日(土)以降に実施されなければならない。

「大会計測証明書」発行後は艇の修理・改造を行ってはならず、修理・改造を行った場合は、再計測を受けなければならない。

9.3 テクニカル委員会が納得する合理的な理由がある場合に限り、各水域で出来なかった大会計測を会場地で行う場合がある。

大会で実施する計測料は、3,000円/1艇体、3,000円/セール1セットとする。

注意：この場合の合理的な理由とは、参加チームの責任ではない理由にて各水域で大会計測ができなかったことを指す。至近で艇体、セール等を購入し大会会場で受け取った場合や大会期間外の練習で破損した場合等は、合理的な理由とはならない。

10. 帆走指示書

帆走指示書は2021年10月3日(日)までに、大会ホームページに掲示する。

11. レース・エリア

【添付図B】は「レース・エリア」を示す。

12. コース

【添付図C】は、艇が帆走するコースを示している。

13. 得点

- 13.1 艇のシリーズ得点は、完了したレースが 5 レース以下の場合、全レースの合計得点とし、6 レース以上完了した場合、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。これは規則 A2.1 を変更している。
- 13.2 規則 90.3(b)に規定された失格（「DNE」）に対する得点は、参加艇数に 5 を加えた得点とする。これは規則 A5.2 を変更している。
- 13.3 掲示されたレースまたはシリーズの成績結果の中に誤りがあるとして照会する場合、艇は帆走指示書のリンクにある『リクエストシート』を用いて照会することができる。
- 13.4 最優秀選手の選出において、470 クラス、スナイプクラスで成立したレース数が異なる場合、艇の得点の平均値（小数点以下 2 位を四捨五入）を求め、少ない方を上位とする。それでもタイとなった場合は、成立したレース数が多いクラスのスキッパーを上位とする。成立したレース数が同じで得点がタイとなった場合は、規則 A8 を適用する。それでも解けない場合は、両クラスのスキッパーを最優秀選手とする。

14. 賞

賞は次のように与えられる。

順位	470 クラス・スナイプクラス	レーザーラジアルクラス
優勝	小澤杯（持ち回り）、賞状、賞品	賞状、賞品
2 位・3 位	賞状、賞品	賞状、賞品
4 位～6 位	賞状	

470 クラス、スナイプクラスの中で最少得点の選手（スキッパー）には最優秀選手賞関山旗を授与する。

15 [DP][NP]支援者・支援者艇

- 15.1 海陽ヨットハーバーに来場する支援者は、競技者と同様に公示 18 に従うこと。
- 15.2 支援者艇は、次の条件を満たす場合のみ使用が認められる。
 - ① 公示 6.3、公示 7(3)の振込を完了していること。
 - ② 各大学登録できる支援者艇は、参加クラス毎に 1 艇とする。
 - ③ 救助活動に備えて乗員は 2 名以上とし、定員の 80%を超えて乗船してはいけない。端数の場合は、小数第一位を繰り上げた人数とする。
 - ④ 支援者艇は水上にいる間、主催団体から貸与する『識別用リボン』を水面より 1.5m 以上の高さに掲揚するとともに、受付時に支給される『大学名を記した表示』を外部より視認できるように掲示しなければならない。
 - ⑤ 主催者が指定する種類の無線機を搭載しなければいけない。参加校に複数の支援者艇がいる場合は、代表支援者艇に搭載すること。
無線機は、申し込みすることで主催者から有償で借用できる。

【指定する無線機の種類】

デジタル簡易無線機（登録局）（周波数 351.2000MHz～351.38125MHz）

- ⑥ 支援者艇は、常時無線を傍受しなければならない。これら無線機は、傍受専用で、レース委員会からの救助要請時を除き、発信してはならない。
- ⑦ 主催団体が指定する棧橋以外に係留してはならない。
- ⑧ 支援者艇が乗員の乗降、機材の積み込み、積下ろしのために一時的に豊田自動織機海陽ヨットハーバーに入港する場合でも、ヨットハーバー事務室にて所定の手続きを行い、使用料を支払わなければならない。その上で、乗員の乗降、機材の積み込み、積下ろしが完了次第、速やかに出港しなければならない。

16. 責任の否認

この大会の競技者、支援者は自分自身の責任で参加する。規則3『レースをすることの決定』参照。主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物的損害または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

17. 大会期間中の肖像権及び個人情報の公開

大会期間中の艇、競技者、支援者に関する写真、動画等の全ての著作物、映像に関する権利は、主催団体に帰属する。参加申し込みにあたり提出された個人情報は、本大会の情報発信をするメディアを除き、本人の同意がない限り第三者に提供されることはない。

主催者の判断により、大会情報の発信のため、名前、所属、セール番号、学年、写真、動画が含まれる内容の記事や「エントリーリスト」「成績表」などについて、大会ホームページやSNSに掲載されることがある。

18. [DP][NP]コロナウイルス感染予防対策

- 18.1 競技者及び支援者は、大会ホームページで入手できる「コロナウイルス感染予防対策について」に従わなければならない。
- 18.2 選手は、厚生労働省が公表する「新しい生活様式」を遵守すること。
- 18.3 第86回全日本学生ヨット選手権大会に出場のみ選手は、10月30日（土）～11月1日（月）の期間、海陽ヨットハーバーでの練習等を行うことはできない。
- 18.4 海陽ヨットハーバーの利用にあたっては、施設が指示する【新型コロナウイルスの感染拡大防止による施設利用の制限について】を遵守すること。これは、豊田自動織機 海陽ヨットハーバーのホームページで取得出来る。<http://www.aichi-koen.com/kaiyo/>
- 18.5 マスク等、感染対策に必要な物は、選手自身で準備すると共に海陽ヨットハーバー内及び支援者艇乗船時は必ず着用する。
- 18.6 大会前2週間以内にコロナウイルス感染の疑いがある場合は大会に参加しない。これは、期間内に「濃厚接触者の新しい定義」に該当するものと接触し体調に異常を感じた場合も含まれる。

- 18.7 公式掲示で指示した場合は、選手および 5.5 項で登録した者、大会関係者以外は、大会が指定する海陽ヨットハーバーの指定されたエリア（選手が利用しているバース、スロープ）には入ってはいけない。
- 18.8 選手は、毎朝の健康状態を確認し「選手用健康チェックシート」をブリーフィングまでにオンラインにて提出する。
- 18.9 海陽ヨットハーバーに来場する支援者は、来場日の朝の健康状態を確認し「支援者用健康チェックシート」を海陽ヨットハーバーに入所するまでにオンラインにて提出する。
- 18.10 海陽ヨットハーバー入所時は、体温測定と手の消毒を実施する。この結果、体調に異状がある場合は来場しない。
- 18.11 毎朝の健康状態を確認し健康チェックシートをブリーフィング時刻までにオンラインにて提出する。海陽ヨットハーバー入所時は、体温測定と手の消毒を実施する。この結果、体調に異状がある場合は、来場しない。
- 18.12 大会期間中にコロナウイルス感染の疑いがある場合は、主催団体に報告する。また、大会終了後 2 週間（11 月 15 日）以内にコロナウイルス感染症状が発生した場合も所属する水域学連を通じ主催団体に報告する。
- 18.13 大会終了後 2 週間は、行動を記録し主催団体から要求があった場合は提出する。

[選手用健康チェックシート](#)

[支援者用健康チェックシート](#)

19. 大会中止もしくは延期の要件

次の場合は、大会を中止もしくは延期することがある。

- (1) 全日本学生ヨット連盟の加盟校が活動する地域において日本国政府による緊急事態宣言が再宣言された場合。ただし、状況を確認し出場校が活動する地域などに影響が無いと判断された場合は、この限りでない。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため行政機関等より、愛知県において 500 人規模を上回る屋外イベントの中止依頼がされた場合。
- (3) 大会期間中に選手、関係者の新型コロナウイルス感染が発覚した場合。
- (4) 公的機関から大会中止の指示がされた場合。
- (5) 大会会長が、中止を判断したとき。
- (6) 大会期間中に大会が中止された場合でも、8.2 項が満足された場合は、大会は成立する。

20. 問合せ先

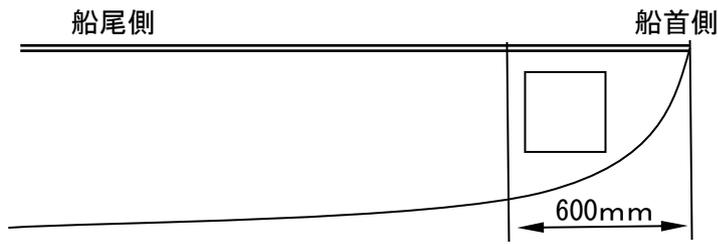
本大会に関する問い合わせ先は、大会ホームページにあるリクエストシートにて行う。

[リクエストシート](#)

[大会ホームページ](#)

<https://www.ayf.jp/race/1147>

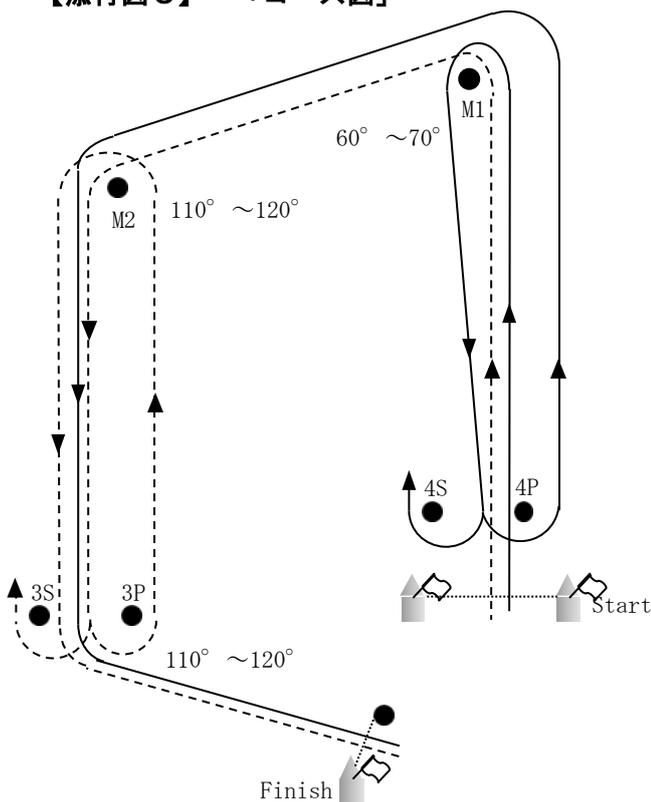
【添付図A】 「艇の識別番号」



【添付図B】 「レース・エリア」



【添付図C】 「コース図」



コース 0 : 破線

スタート → M1 → M2 → 3P/3S → M2
→ 3P → フィニッシュ

コース I : 実線

スタート → M1 → 4P/4S → M1
→ M2 → 3P → フィニッシュ

2021 年度全日本学生ヨット個人選手権大会

2021 年全日本学生シングルハンドレガッタ

大会期間	2021年10月29日(金)～2021年11月1日(月)
開催地	愛知県蒲郡市海陽町1-7 豊田自動織機海陽ヨットハーバー

帆走指示書

1 帆走指示書の変更

帆走指示書(以下、『指示』という)の変更は、その日の最初のレースのスタート予告信号予定時刻の60分前までに掲示される。ただし、レース日程の変更については、発効する前日の18時までに掲示される。

2 競技者への通告

2.1 競技者への通告は、大会ホームページに公式掲示板を設置するとともに、LINEの大会オープンチャットにて競技者へ発信される。

大会ホームページ <https://www.ayf.jp/race/11479>

2.2 レガッタ・オフィスは、豊田自動織機 海陽ヨットハーバー 競技運営棟(西棟)に設けられる。

3 陸上で発する信号

3.1 陸上で発する信号は、レガッタ・オフィス南側の信号柱に掲揚する。また同時にLINEの大会オープンチャットにて選手へ発信される。ただし、LINEの不具合等は、艇からの救済要求の根拠とはならない。これは規則60.1(b)を変更している。

3.2 [NP][SP]音響1声と共に掲揚されるD旗は、「予告信号は、D旗の掲揚30分以降に発せられる。」を意味する。艇は、この信号が発せられるまで出艇をしてはならない。

4 [SP][DP]トラッキングシステム

トラッキングシステムの端末機器は、毎日出艇までにレガッタ・オフィスにて入手し、帰着後速やかに返却しなければならない。

5 レース日程

規則レース信号「オレンジ旗」に以下を追加する。

レースが間もなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する5分前までに、レース委員会信号艇に音響1声と共にオレンジ旗を掲揚する。

6 クラス旗

クラス旗は次のとおりとする。

470 クラス	白地に青色の 470 クラスの形象
スナイプクラス	白地に赤色のスナイプクラスの形象
レーザーラジアルクラス	白地に赤色のレーザークラス形象

7 コース

予告信号以前に、レース委員会信号艇のスターボード・サイドに艇が帆走するコースを掲示し、スターンに最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

8 マーク

マーク	形状・色
マーク 1、2、3s、3p、4s、4p	オレンジ色の円錐形ブイ
指示 10 に規定する新しいマーク	緑色の円錐形ブイ

スタート・マークは、レース委員会信号艇と、ポート端にいるレース委員会艇とする。

フィニッシュ・マークは、スターボードの端にあるレース委員会艇と、ポートの端にあるオレンジ色の円筒形ブイとする。

9 スタート

- 9.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上でオレンジ旗を掲揚しているポールの間とする。
- 9.2 [NP] [DP] 予告信号が発せられていない艇は、他のレースのスタート手順の間、【添付図 A】に示されたスタート・エリアを回避しなければならない。
- 9.3 スタート信号後 4 分より後にスタートする艇は、「スタートしなかった (DNS)」として記録される。これは規則 A5.1 および A5.2 を変更している。
- 9.4 レースが再スタートまたは再レースとなった場合に掲示される規則 30.4 に抵触した「艇の識別番号」は、次のレースの予告信号以前にレース委員会信号艇のスターボード・サイドに掲示される。これは規則 30.4 を変更している。
- 9.5 [NP] 指示 9.4 以外で、スタート時に UFD または BFD と記録された「艇の識別番号」は、レース委員会信号艇のスターボード・サイドに掲示される。UFD 及び BFD と記録された「艇の識別番号」の掲示の不備に関して艇からの救済要求の根拠とはならない。これは規則 60.1 (b) を変更している。
- 9.6 ゼネラル・リコールとなった場合、艇に注意喚起するために、レース委員会信号艇以外のレース委員会艇に音響信号無しで第 1 代表旗を掲揚する場合がある。信号艇以外のレース委員会艇での第 1 代表旗降下には、レース信号第 1 代表旗の「予告信号は、降下の 1 分後に発せられる。」の意味は持たない。これは規則 29.2 を変更している。

10 コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は新しいマークを設置し(またはフィニッシュ・ラインを移動し)、実行できればすぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

11 フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マークとフィニッシュ・マーク上で青色旗を掲揚しているポールとの間とする。

12 タイム・リミットと目標時間

12.1 タイム・リミットとフィニッシュ・ウィンドウ及びターゲット・タイムは、以下のとおりとする。

クラス	タイム・リミット	マーク1のタイム・リミット	フィニッシュ・ウィンドウ	ターゲット・タイム
470 クラス	75 分	25 分	15 分	45 分
スナイプ クラス	80 分	25 分	15 分	50 分
レーザーラジアル	80 分	25 分	15 分	50 分

12.2 指示 12.1 に定めるマーク1のタイム・リミット内に1艇もマーク1を通過できそうもない場合、レースを中止することができる。これは規則 32.1 を変更している。

12.3 レースを中止する場合、艇に注意喚起するために、レース委員会信号艇以外のレース委員会艇に音響信号と共にN旗を掲揚する場合がある。信号艇以外のレース委員会艇でのN旗の降下には、レース信号N旗の「予告信号は、降下の1分後に発せられる。」の意味は持たない。

12.4 ターゲット・タイムどおりとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは規則 62.1(a) を変更している。

12.5 フィニッシュ・ウィンドウは、最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後、艇がフィニッシュするまでの時間である。規則 30.3 及び 30.4 が用いられた場合、各々に違反しない最初の艇がフィニッシュ後のフィニッシュ・ウィンドウ内にフィニッシュできず、かつ、その後リタイアせず、ペナルティーを課されず、または救済を与えられなかった艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった (DNF)』と記録される。これは RRS 35、A4、A5 を変更している。

13 ペナルティー方式

13.1 [SP]は、レース委員会またはテクニカル委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これらの違反に関連するペナルティーのガイドラインは、公式掲示板に掲示される。標準ペナルティーを課された艇の得点略語は「STP」である。これは規則 63.1、A5.1 及び A10 を変更している。レース委員会またはテクニカル委員会は、抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。

- 13.2 規則 T1 に基づく「レース後のペナルティー」を履行した艇は、得点略語「PRP」を用いて記録される。これは規則 A10 を変更している。
- 13.3 規則 44.1 に基づきペナルティーを履行した競技者は、「帰着申告」のフォームに入力、送信しなければならない。
- 13.4 レース公示の規則およびクラスルール違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができる。

14 審問要求

- 14.1 抗議、救済要求および審問再開の要求は、大会ホームページからダウンロード、または「プロテスト委員会事務局」で入手できる用紙に記入の上、締切時間内に「プロテスト委員会事務局」に電子メールまたは持参して提出しなければならない。
【提出先メールアドレス】 chubu.icyf.alljapan@gmail.com
- 14.2 抗議および救済要求または審問再開の要求は、適切な締切時間内に行わなければならない。
- 14.3 抗議締切時刻は、それぞれのクラスに対して、その日の最終レース終了時刻、またはレース委員会が「本日これ以上レースを行わない」と信号を発した時刻のいずれか遅い方の 60 分後とし、その時刻を公式掲示板に掲示する。これは規則 61.3、62.2 を変更している。
- 14.4 レース委員会、プロテスト委員会またはテクニカル委員会による規則 61.1(b) に基づく競技者への抗議の通告は、公式掲示板に提示される。
- 14.5 当事者であるか、または証人として名前があげられている審問に関わっている競技者に通告するために、抗議締切時刻から 15 分以内に通告を公式掲示板に掲示する。審問は、公式掲示板に掲示された時刻に始められる。
- 14.6 規則 42 の違反によりペナルティーを課せられた艇のリストは、公式掲示板に掲示される。
- 14.7 レースを行う最終日には、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から 20 分以内に提出されなければならない。これは規則 62.2(a) を変更している。

15 [NP]安全に関する要件

- 15.1 出艇申告と帰着申告は、オンラインを活用したチェックアウト/チェックインシステムを用いる。
- 15.2 [SP] 競技者は、その日の 8:00 から 9:30 までに、帆走指示書のリンク先に用意された「出艇申告書」のフォームに入力し、送信しなければならない。このとき、各日の最初のレースの乗員も併せて申告しなければならない。
- 15.3 [SP] 競技者は、帰着後速やかに帆走指示書のリンク先に用意された「帰着申告書」のフォームに入力し、送信しなければならない。その日のレース終了後は、遅くとも指示 14.3 の抗議締切時刻までに、帰着申告に関わる事項を入力し、送信をしなければならない。
- 15.4 [SP] 出艇しない艇は出艇申告受付時間内に、帆走指示書のリンク先に用意された「リタイア報告書」のフォームに入力し、送信しなければならない。その後出艇する場合は、出艇前に「出艇申告書」のフォームに入力し、送信しなければならない。

- 15.5 [SP] レースからリタイアする艇は帰着後速やかに、帆走指示書のリンク先に用意された「リタイア報告書」のフォームに入力し、送信しなければならない。レースからリタイアした艇は、コースを離れる前に、可能であればレース委員会艇、テクニカル委員会艇、またはプロテスト委員会艇にリタイアの意思を伝えなければならない。その後出艇する場合は、出艇前に「出艇申告書」のフォームに入力し、送信しなければならない。
- 15.6 レース委員会は帆走不可能もしくは危険な状態にあると判断した場合には、各艇の意向に関わらず艇体放棄を含む救助を行うことができる。この強制救助に対しては、艇からの救済要求の根拠とはならない。これは規則 62.1(a)を変更している。
- 15.7 各競技者は、出艇から帰着まで衣服または個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、個人用浮揚用具を着用していなければならない。これは規則 40.2 を変更している。

16 競技者の交代

- 16.1 [NP][SP] 競技者は、その日の2レース目以降に海上乗員の交代をする場合は、帆走指示書のリンク先に用意された「帰着申告書」のフォームに入力し、指示 15.3 と同時に送信しなければならない。
- 16.2 引き続きレースが行われた場合、指示 16.1 違反に対して、対象の全てのレースにペナルティーを課す。

17 [NP][DP] 装備の交換

- 17.1 損傷または紛失した装備を陸上で交換する場合は、帆走指示書のリンク先に用意された「装備交換申請」のフォームに入力し、送信しなければならない。
- 17.2 損傷または紛失した装備を海上で交換する場合は、帰着後の適切な機会に帆走指示書のリンク先に用意された「装備交換申請」のフォームに入力し、送信しなければならない。
- 17.3 損傷による修理交換、または紛失した装備の交換は、帆走指示書のリンク先に用意された「装備交換申請」のフォームに入力し、送信しなければならない。その後、最初の適切な機会にレガッタ・オフィスにて交換の旨を伝えた後、テクニカル委員会の検査を受けて承認を得なければならない。
- 17.4 損傷または紛失した装備の交換が海上の場合、可能ならば近くのレース委員会艇に装備の交換がある旨を伝え、指示 17.1 と同様の手続きを行わなければならない。また、その交換はテクニカル委員会の承認を条件として、海上交換後に完了したレースにさかのぼって認められる。

18 [DP][NP] 装備と計測のチェック

- 18.1 艇または装備は、規則に従っていることを確認するため、常に検査また計測されることがある。
- 18.2 陸上では、テクニカル委員会により、検査のために直ちに指定された計測場所に艇を持ち込むことを指示されることがある。
- 18.3 海上では、テクニカル委員会により、検査のために直ちに指定されたエリアに向かうことを指示されることがある。海上での計測を受けるまで、艇にいかなる調整をしてはならない。

19 運営艇の標識

運営艇の標識は、次のとおりとする。

レース委員会艇	「C」と白字で記された黒色旗
プロテスト委員会艇	「JURY」と白字で記された赤色旗
テクニカル委員会艇	「MEASURER」と黒字で記された白色旗
レスキュー艇	「RESCUE」と白字で記された緑色旗
メディア艇	「MEDIA」と白字で記された青色旗
VIP 艇	「VIP」と黒字で記された水色旗

20 支援者艇

- 20.1 [NP][DP] 主催団体から無線機を有償で貸与される場合は、レガッタ・オフィスにて受け取らなければならない。貸与された無線は、自然劣化を除き、貸与された状態を保全しなければならない。
- 20.2 [NP][DP] 競技者の安全な出艇を確保するため、支援者艇は、D 旗掲揚後 10 分間は係留した棧橋から離岸してはならない。また、この時間帯は、ハーバー港内と港内からの出入口付近に待機してはいけない。
- 20.3 支援者艇は、レース中の艇に引き波の影響を与えてはならない。
- 20.4 [NP] 支援者艇は、準備信号からレースが終了するまで、またはレース委員会がレースの延期あるいはレースの中止の信号を発するまで、【添付図 B】にある支援者艇の制限区域に入ってはならない。
- 20.5 [DP] 支援者艇は、レース委員会、プロテスト委員会またはテクニカル委員会から、コース・エリアからさらに離れるよう指示された場合、直ちに従わなければならない。

- 20.6 規則 37 を以下の様に変更をする。レース委員会が音響 1 声とともに、V 旗を掲揚した場合、支援者艇はレースをしているエリアを含む全てのエリアにおいて、危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない。ただし、支援者艇は艇に対して救助活動を除いた援助を与えてはならない。この場合、指示 20.3、指示 20.4 は適用されない。」
- 20.7 [NP][DP]主催団体から無線機を有償で貸与される場合は、無線機を返却し、動作確認を受けなければならない。

21 ごみの処分

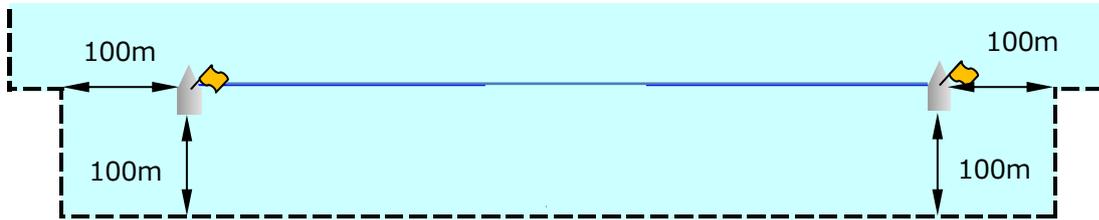
ごみは、支援者艇、レース委員会艇、またはプロテスト委員会艇に渡してもよい。

22 行動規範

競技者、および支援者は、主催団体、競技役員からの合理的な理由に基づく指示に従わなければならない。

【添付図A】 「スタート・エリア」

指示 9.2 にて規定されている「スタート・エリア」を点線で示す。

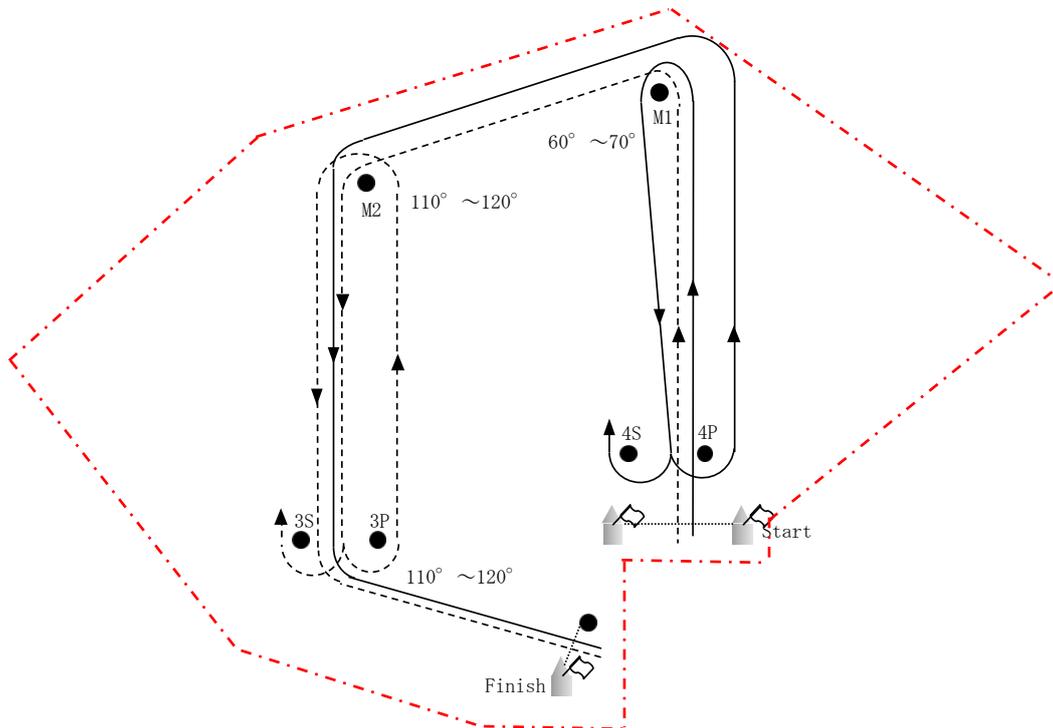


【添付図B】 「艇がレースをしているエリア」

指示 20.4 にて規定されている「艇がレースをしているエリア」

この点線は、艇が帆走するであろう位置から距離 100m を示している。

スタート後、レース委員会信号艇の両端のレース委員会艇は、この位置にない場合がある。



【各種リンク】

LINE オープンチャット



[出艇申告書](#)

[帰着申告書](#)

[リタイア報告書](#)

[装備交換申請](#)

【三谷漁港潮汐表】

10月30日(土)		10月31日(日)		11月1日(月)	
潮 長		潮 若		潮 月	
月齡 23.7		月齡 24.7		月齡 25.7	
日の出 6:09		日の出 6:10		日の出 6:11	
日の入 17:00		日の入 16:59		日の入 16:58	
満潮	干潮	満潮	干潮	満潮	干潮
1:02	7:12	2:21	8:50	3:13	9:46
172cm	120cm	197cm	102cm	226cm	80cm
12:40	19:17	14:12	20:20	15:14	21:10
159cm	82cm	161cm	67cm	169cm	50cm

470 Class



水域	大学名	スキッパー	クルー	クルー	識別番号	セール番号
北海道	小樽商科大学	岡野孔輔	蛭谷真尋	小澤杏奈	1	4752
	北海道大学	森樹	中野眞吾		2	4632
	北海道大学	熊谷羽留	浅井瞭		3	4557
東北	東北大学	江田行志	平田佳佑		4	4782
	東北大学	大久保拓海	大久保稜太	加藤湧也	5	4535
	新潟大学	千葉有花	袴田麻友		6	4786
関東	神奈川大学	中濱光祐	田中亮		7	4783
	慶応義塾大学	八木貴大	小森瑛祐		8	4777
	慶応義塾大学	小木曾涼	海老澤快		9	4713
	慶応義塾大学	菅澤龍佑	兼子烈		10	4693
	中央大学	木村颯太	青木武斗		11	4774
	中央大学	岡田大治	吉田鈴奈	中野太陽	12	4732
	中央大学	小西健治	有田功樹		13	4731
	日本大学	小柳倫太郎	久保田賢人		14	4773
	日本大学	小濱暖士	坂井友里愛	福田拓斗	15	4749
	日本大学	中山由菜	池田隼太		16	4734
	日本大学	本多佑基	狩野弁慶		17	4733
	明治大学	今村紗栄	八木栄樹	桑野明日佳	18	4721
	明治大学	石塚春菜	小柴涼摩	横山直人	19	4606
	横浜国立大学	国見有	金光浩志	森上和成	20	4725
	早稲田大学	倉橋直暉	松本健汰		21	4789
	早稲田大学	小泉凱皇	田中丸武	上園田明真海	22	4756
早稲田大学	西村宗至朗	新井 健伸	吉野満衣	23	4695	
早稲田大学	石川和歩	金子俊輔		24	4647	
中部	愛知工業大学	矢野聡美	服部竜樹	長岡広翔	25	4638
	名古屋大学	相羽航平	吉野花梨	宮原光彦	26	4726
	名古屋工業大学	濱口創	森雄紀	谷川汐音	27	4770
	名古屋工業大学	竹尾巧太郎	野首匡平	橋本慧海	28	4769
	名城大学	原田憲昌	辻村周大	青木鴻汰	29	4635
近畿・ 北陸	金沢大学	谷口慎治	平手颯馬		30	4532
	同志社大学	平井徳輝	富士元進歩		31	4778
	同志社大学	大石駿水	板東満月		32	4761
	同志社大学	三浦風砂	小松慎平	三浦匠	33	4694
	同志社大学	小菅楓	安藤健太		34	4588
	立命館大学	河村諒	小野倅士朗		35	4760

関西	関西学院大学	藤原達人	竹澤千里		36	4797
	関西学院大学	森重新那	中岡侑萌子	吉井陽哉	37	4747
	関西学院大学	藤尾万唯華	福井健太		38	4746
	関西学院大学	林玄	塚本紘平	伊藤はるか	39	4735
	近畿大学	宮本和	山川颯斗	松尾敏志	40	4790
	近畿大学	嶋野成優	山口真矢	山崎奨太	41	4763
中国	岡山大学	金中工歩	草本涼		42	4740
	岡山大学	堀邊真由	石井龍起		43	4636
	岡山大学	北岡隆二	西隆宏	平住厚樹	44	4390
	広島大学	河野拓未	高橋唯		45	4481
四国	高知大学	清和凌河	森下まひる		46	4066
	徳島大学	名倉佑輝	竹一憲太朗		47	4568
	徳島大学	由村慶介	寺井正実	清岳雲	48	4392
九州	鹿屋体育大学	山口篤郎	金城朋輝		49	4407
	九州大学	山下龍司	矢吹創	西本かなで	50	4717
	九州大学	野妻快成	佐藤拓海		51	4597
	九州大学	森ゆり奈	上野大一		52	4556
	日本経済大学	河崎聖	宮崎朝光	永田魁	53	4758
	日本経済大学	糸瀬雅玖翔	松尾勇輝	安藤司	54	4634

Snipe Class



水域	大学名	スキッパー	クルー	クルー	識別番号	セール番号	
北海道	小樽商科大学	桑原遼太	三浦庸介		1	31516	
	北海道大学	一木佑太	田邊琉哉		2	30636	
	北海道大学	須藤志保	田窪祐也		3	30020	
東北	東北大学	長曾我部克己	岡本理花		4	31378	
	東北大学	田中芳尚	水野雄大		5	31228	
	新潟大学	高橋実来	大鋸健太		6	29707	
関東	慶応義塾大学	横川響平	秋田理央		7	31675	
	慶応義塾大学	磯村麟之介	佐藤紘大	佐藤一真	8	31518	
	慶応義塾大学	石川海渡	宮内勇一		9	31092	
	中央大学	廣瀬翔大	熊倉優	阿部智也	10	31652	
	中央大学	佐々木謙	井上洋輔	山下浩輝	11	31319	
	日本大学	杉浦涼斗	宮崎皇	鈴木慎	12	31561	
	日本大学	廣原周	岡村保乃加	宮野鴻	13	31390	
	法政大学	一木健吾	春田康秀		14	31732	
	明海大学	加藤凡尋	秋岡なおみ	猪狩祐樹	15	31385	
	明海大学	大平京ノ介	高橋陽人	長井葵	16	31165	
	明治大学	富永祐大	溝口真由	佐藤新	17	31366	
	横浜国立大学	塚本悠太	阿左美さくら	丹菊悠太	18	31657	
	横浜国立大学	小野佑太	原田なつ	柴山直人	19	31376	
	立教大学	谷望	小河寛和	大熊友梨香	20	31658	
	早稲田大学	蜂須賀晋之介	河崎元紀		21	31584	
	早稲田大学	尾道佳諭	根本優樹	白石誉輝	22	31380	
	早稲田大学	大久保優輝	川合大貴	鶴岡由梨奈	23	31306	
	早稲田大学	服部陸太	芝崎鉄平		24	31737	
	中部	名古屋工業大学	水野利紀	中山朋紀	前川太志	25	31690
		名古屋工業大学	吉見海翔	大野智也	加藤雅基	26	31689
		名古屋工業大学	酒井瑞生	高橋勇哉	内藤李久	27	30358
		三重大学	岩佐脩佑	金田魁星	岩田沙希	28	30332
		三重大学	池山耕太	木子絢葉	平賀詩之助	29	29077
	近畿・北陸	京都大学	南野仁	黒田丈		30	30383
京都大学		村山航大	岡本旺成		31	30665	
同志社大学		長谷川真大	白田敦也		32	31181	
同志社大学		内貴航路朗	篠原璃音	今村晃大	33	30080	
同志社大学		澤田皓希	佐々木一馬	牧野陸	34	30010	
立命館大学		飯塚勇太	奥野喜彬	中井竜聖	35	31734	

関西	関西大学	福田新之介	竹中麻結	奥村悠大	36	31085
	関西学院大学	石川航	曾我部謙		37	31741
	関西学院大学	石田穂乃香	林大和		38	31387
	関西学院大学	高菅峻	森本優太		39	31351
	関西学院大学	尾関芳樹	熊本悠人		40	31079
	近畿大学	高井惟吹	片原竜樹	高山真治	41	31069
中国	岡山大学	上村知加	宮本泰成	國弘航汰	42	30310
	広島大学	上田健司	山本莉久		43	30804
	広島大学	小坂駿斗	大槇望未		44	31305
	山口大学	川田浩輝	栗山聖史	森智樹	45	29098
四国	香川大学	仙田悠人	松下慧悟	川内岳典	46	31619
	香川大学	高杉しおり	的場大晟	土井隆ノ介	47	28413
	徳島大学	斎藤佑樹	大井基暉	三木勇人	48	30992
九州	鹿屋体育大学	木田拳太郎	寺尾碧		49	30642
	九州大学	足立拓馬	下川隆治		50	31557
	九州大学	藏藤彰宏	伊藤仁		51	31335
	九州大学	奥田祐大	成瀬諒花		52	31272
	福岡大学	鈴木杏依子	河津優理		53	31401
	福岡大学	上田健登	佐藤詩音		54	31022

Laser Radial Class



水域	大学名	氏名	識別番号	セール番号
関東	拓殖大学	神木颯太	1	216128
	日本大学	須永笑顔	2	217071
	日本大学	伴俊弥	3	204485
中部	愛知工業大学	高島雅久	4	212803
	名古屋大学	岡村大暉	5	216126
	三重大学	若林幸輝	6	209511
	三重大学	安南帆起	7	195975
九州	鹿児島大学	浦哲郎	8	212804
	鹿児島大学	江崎将太	9	216125
	鹿児島大学	吉村亮汰	10	212805
	九州大学	佐田寛朗	11	216127
	長崎大学	金城伶旺	12	212801
	長崎大学	近藤大	13	212802

歴代優勝者

開催年	開催地	クラス	大学名	スキッパー	クルー
1998 年度	蒲郡市海陽 Y.H	470	日本大学	秋吉輝人	渡辺隆蔵
		スナイプ	同志社大学	原口裕司	木見尻拓宣
1999 年度	蒲郡市海陽 Y.H	470	日本大学	荒川海彦	関悠一郎
		スナイプ	福岡大学	沖西祥宏	中島伸義
		シングルハンド	法政大学	栄洋光	—
2000 年度	蒲郡市海陽 Y.H	470	日本大学	荒川海彦	関根悠一郎
		スナイプ	福岡大学	中村匠	讃井俊博
		シングルハンド	岡山理科大学	鷲崎隆陽	—
2001 年度	新西宮 Y.H	470	同志社大学	松永鉄也	佐澤孝悠
		スナイプ	福岡大学	中村匠	上田真聖
2002 年度	蒲郡市海陽 Y.H	470	立命館大学	伊藤友紀	梶原孝信
		スナイプ	福岡大学	城航太	古賀智彦
		シングルハンド	法政大学	原田康幸	—
2003 年度	蒲郡市海陽 Y.H	470	第一経済大学	坂口英章	今井／新居
		スナイプ	福岡大学	城航太	岩瀬廣亮
		シングルハンド	鹿屋体育大学	大久保光裕	—
2004 年度	福岡市小戸 Y.H	470	福岡大学	前田弘樹	木村彰吾
		スナイプ	福岡大学	古賀智彦	江口信雄
2005 年度	蒲郡市海陽 Y.H	470	日本大学	石川裕也	野呂英輔
		スナイプ	同志社大学	西村裕司	梶本昇司
		シングルハンド	近畿大学	疋田菜穂子	—
2006 年度	蒲郡市海陽 Y.H	470	関西学院大学	市野直毅	佐藤／牛尾
		スナイプ	日本大学	大井祐一	中島貢
		シングルハンド	鹿屋体育大学	藤谷匠	—
2007 年度	蒲郡市海陽 Y.H	470	福岡経済大学	福岡潤貴	吉見亮平
		スナイプ	福岡大学	長谷川孝	田中勇祐
		シングルハンド	鹿屋体育大学	安田真之助	—
2008 年度	蒲郡市海陽 Y.H	470	福岡経済大学	宮川英之	永井俊之
		スナイプ	福岡大学	川原秀之	田中勇祐
		シングルハンド	東海大学	九富慎太郎	—

開催年	開催地	クラス	大学名	スキッパー	クルー
2009 年度	蒲郡市海陽 Y.H	470	日本経済大学	飯塚潮吹	外園潤平
		スナイプ	早稲田大学	木内蓉子	芝尾航
		シングルハンド	法政大学	牟田口駿	—
2010 年度	福岡市小戸 Y.H	470	慶応義塾大学	河合龍太郎	小川晋平
		スナイプ	早稲田大学	古谷信玄	井坂智
		シングルハンド	—	—	—
2011 年度	蒲郡市海陽 Y.H	470	日本経済大学	土居一斗	磯崎哲哉
		スナイプ	鹿屋体育大学	鈴木章央	久保風太
		シングルハンド	—	—	—
2012 年度	福岡市小戸 Y.H	470	日本経済大学	土居一斗	石井佑典
		スナイプ	同志社大学	西村秀樹	中川健太
		シングルハンド	鹿屋体育大学	元津大地	—
2013 年度	蒲郡市海陽 Y.H	470	関西学院大学	西尾駿作	俣江／庄野
		スナイプ	関西学院大学	小栗康弘	浅原／筒井
		シングルハンド	九州大学	橋元隆	—
2014 年度	蒲郡市海陽 Y.H	470	早稲田大学	小泉颯作	江畑陽太
		スナイプ	日本大学	伊村仁志	大野雅貴
		シングルハンド	関東学院大学	北村勇一朗	—
2015 年度	蒲郡市海陽 Y.H	470	関西学院大学	神木聖	甲斐／光森
		スナイプ	同志社大学	山田剛士	北原洋
		シングルハンド	専修大学	吉田慎一郎	—
2016 年度	新西宮 Y.H	470	同志社大学	渡辺駿	三好／上野
		スナイプ	慶応義塾大学	細沼豪太	畠広樹
		シングルハンド	関東学院大学	北村勇一朗	—
2017 年度	蒲郡市海陽 Y.H	470	関西学院大学	有岡翼	大野雅寿
		スナイプ	早稲田大学	永松礼	川上健太
		シングルハンド	鹿児島国際大学	岩城海都	—
2018 年度	東京都 若洲ヨット 訓練所	470	日本経済大学	平野匠	野田友哉
		スナイプ	早稲田大学	松尾虎太郎	海老沼崇
		シングルハンド	鹿児島国際大学	岩城海都	—

開催年	開催地	クラス	大学名	スキッパー	クルー
2019 年度	蒲郡市海陽 Y.H	470	早稲田大学	田中美紗樹	新井健神
		スナイプ	早稲田大学	松尾虎太郎	海老原崇
		シングルハンド	中央大学	廣瀬翔太	—
2020 年度	蒲郡市海陽 Y.H	470	同志社大学	大石駿水	三浦匠
		スナイプ	早稲田大学	松尾虎太郎	鶴岡／川合
		シングルハンド	東京大学	西尾拓大	—

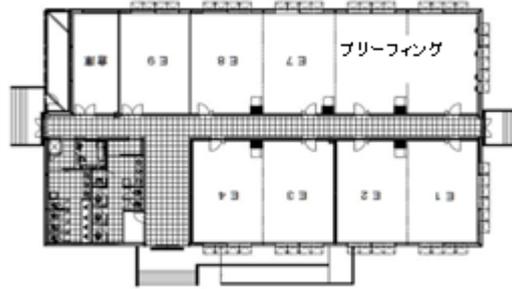
会場案内図

① クラブハウス 中央棟 1 階

女性用シャワールーム
女性用ロッカールーム

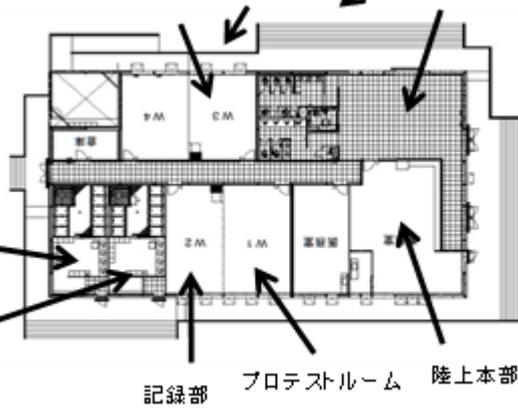


③ 会議メディア棟(東棟)



② 競技運営棟(西棟) 出艇帰着申告

大会委員会 公式掲示 大会受付



男性用シャワールーム
男性用ロッカールーム

女性用シャワールーム
女性用ロッカールーム

海陽ヨットハーバーへの入場は、検温のため入場ルートを制限させていただきます。
必ず検温してからの入場をお願いいたします。

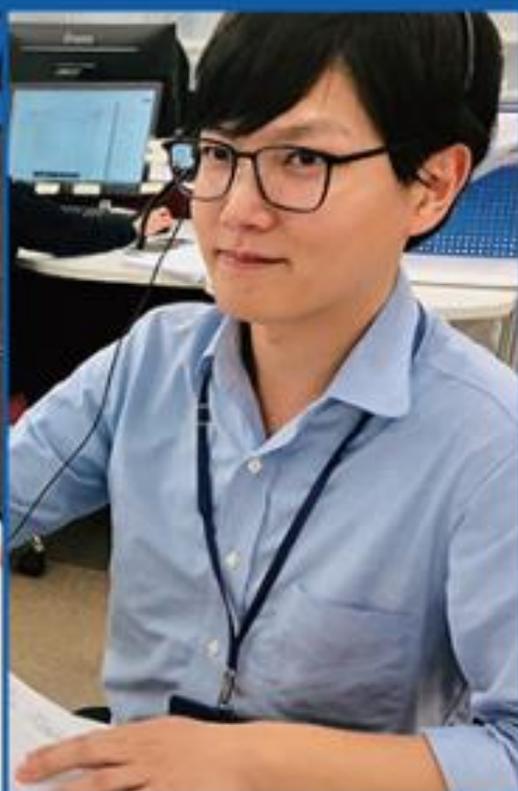




お客様の声を大切に

お役立ちできるように徹底的に行動する。

それが、私たち明治商工です。



 **明治商工株式会社**

〔事業内容〕

建設仮設資材のレンタル・販売

各イベントの企画・運営、ロスベルガーテントの輸入代理店業

〔本社〕

〒143-0006 東京都大田区平和島6-1-1

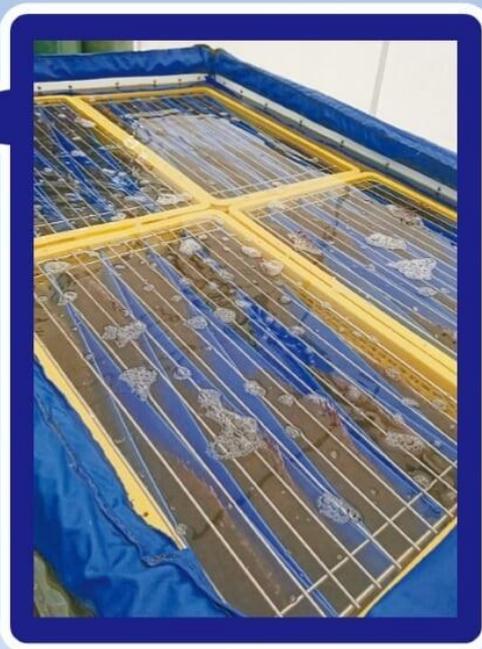
東京流通センター センタービル3階

TEL 03-6404-4446 FAX 03-6404-4447

URL <https://www.meijishoko.com>

— CO2睡眠で活魚輸送の未来を変える —

過密**活魚**輸送を実現!!



日建魚活ボックス
本商品はレンタル品です。



魚活ボックスの便利な使い方!!

- 1 CO²による低活性化輸送で過密状態でも24時間の長時間輸送に対応!**

低活性化により、小型でありながら収容密度25%以上の過密・24時間の長時間輸送を行えます。もちろん少量、近距離の場合はCO₂を使わずそのままの配送が可能です。

- 2 少量配送、大量配送どちらにも対応可能。**

バッテリー、エアレーション機能等搭載のため1台から輸送が可能。水量を調整すれば2t車から運ぶことが出来ます。水槽1台で魚の収容量約300kgです。また大型車両に8台積載すれば、大型活魚車と同等の量を輸送できます。

- 3 一時畜養の水槽としても利用可能。**

AC100Vコンセントも付属しているため、積込み前のバッテリー消費節約だけでなく、畜養槽として常時装置を稼働させることも可能です。

未来のお得。 レコロジー。

ヨットレースには、
シーマンシップ。
エコロジーには、
賢いレンタル。
未来社会の環境は、
レンタル・エコロジーで、
はじまり、始まり。



仮設機材のリース・レンタル

日建片桐リース株式会社

〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク2-1-14

☎011-807-6555 (代表)・FAX011-807-6556

<http://www.katagiri-g.com>

ISO9001 認証



MSA-QS3674
札幌支店
北海道本社工場

私たちに風を作ることはできないけど
一生懸命がんばってる君たちがいるから
何もせずにはいられない。

海

は、青春の航跡。

+ 日建・レンタコムグループ

日建レンタコム株式会社・日建リース工業株式会社
株式会社レンタコム・日建片桐リース株式会社